

令和5年度 ふるさとmine 事業報告

【基本方針】

「機能の維持向上を主体とするサービスの展開を考察実践し営業強化に繋げる」

【年間目標】

- ① フレイル予防を担い、地域との連携強化、包括ケアの推進
- ② 自立支援、重度化防止を意識した運動プログラムの提供
- ③ 機能訓練の知識を有し、根拠あるサービスを行う
- ④ 万全な感染症・災害への対策を実施し、安定した事業所運営を行う
- ⑤ 丁寧な支援により不適切ケア等の排除

【実践報告】

- ① フレイル予防を担い、地域との連携強化、包括ケアの推進
 - ・福祉系事業所との連携を密にとり、情報共有と早期対応に努めた
 - ・介護保険外サービスを継続する事で、地域のフレイル予防に寄与することが出来た
- ② 自立支援・重度化防止を意識した運動プログラムの提供
 - ・LIFEのフィートバックデータを分析し、ケア改善をかかす事に努めた
 - ・在宅での生活動作を把握を行い、必要な動作に応じた個別機能訓練立案と実施
 - ・外出を機能訓練の一環として捉え、確保・実践する事で心身機能の活性に繋がりが行えた
 - ・社会参加を推し進める事で、他者との交流機会や脳トレを通じ認知症予防に努めた
- ③ 機能訓練の知識を有し、根拠あるサービスを行う
 - ・機能訓練に関する定期勉強会を開催し、知識の共有と実施に向けての取り組みが行えた
 - ・新たな歩行訓練プログラムを導入し、個別に根拠のあるニーズに沿ったプログラムを提供することが出来た
- ④ 万全な感染症・災害への対策を実施し、安定した事業所運営を行う
 - ・災害を想定した訓練を定期的実践し、日常的に振り返り、有事に備えることが出来た
 - ・感染症対策、スタンダードプレコーションを継続し、職員・利用者共に周知徹底が行えた。
 - ・感染症が発生した際は速やかに体調確認等情報収集と共有、的確な判断や助言を行い、蔓延防止に繋がった
- ⑤ 丁寧な支援により不適切ケア等の排除
 - ・丁寧語を厳守し、職員同士で注意しあえる環境の整備し、職員への意識改革に努め、定期的に指導を行う事が出来た。言葉遣いや態度への改善点への指摘を継続することで、不適切ケアにつながらないよう継続していく。
 - ・ご利用者の異変を早期に察知し、各協力機関との連携を速やかに行い情報共有することとで、虐待再発を防止することが出来た。

【神戸市への報告を必要とした事故】

報告件数：0件

【苦情件数】

苦情件数：1件

苦情内容

ご利用者が、サービスご利用時に他の利用者には飲料を提供しているのに自身にだけ飲料が提供されていない事に立腹され、帰宅される。

苦情対応

当施設では、飲み放題という形式で、飲料代を頂いている。

申し出があったご利用者は、ご本人様が飲料を持参する契約となっていたので、提供をしなかった。ご本人様とご家族様に契約内容について再度説明を行ない、ご本人様が誤認されていた事が分かる。その後ご利用も再開となっている。